

令和4年9月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当学期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,494	183,174	182,700	182,932	474	242
2 調定量	m ³	668,109	3,869,354	3,918,000	3,945,916	△ 48,646	△ 76,562
3 調定料金(税抜)	円	178,232,348	1,038,535,318	1,047,000,000	1,054,697,876	△ 8,464,682	△ 16,162,558
4 口振加入件数	件	25,088	150,576	-	150,826	-	△ 250

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当学期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,953	113,382	113,420	111,545	△ 38	1,837
6 調定量	m ³	412,299	2,368,021	2,363,600	2,388,303	4,421	△ 20,282
7 調定料金(税抜)	円	65,042,963	375,878,880	373,433,000	377,168,660	2,445,880	△ 1,289,780

3 給水業務関係

項目	単位	A 当学期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	75,368	-	76,620	△ 1,252
9 給水件数	件	30,273	-	30,265	8
10 開栓処理件数	件	218	1,767	1,576	191
11 閉栓処理件数	件	295	1,655	1,494	161
12 給水工事設計審査	件	39	254	270	△ 16
13 給水工事竣工検査	件	50	412	344	68
14 経年メータ交換	件	517	2,380	1,842	538
15 メータ口径変更	件	8	33	38	△ 5
16 督促状発送数	件	1,280	8,115	7,934	181
17 月末停止件数	件	88	-	84	4

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当学期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	29	196	203	△ 7
19 排水設備工事完了検査	件	31	185	163	22

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
20 当年度分	205,393,018円	82.02%	207,052,762円	82.15%
21 過年度分	3,618,746円	98.07%	4,297,200円	97.78%
22 計	209,011,764円	-	211,349,962円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
23 当年度分	83,227,500円	79.87%	83,100,519円	79.97%
24 過年度分	715,670円	99.09%	820,182円	98.96%
25 計	83,943,170円	-	83,920,701円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
26 当年度分	5,362,420円	85.70%	6,683,670円	80.92%
27 過年度分	1,947,200円	11.92%	2,401,300円	10.03%
28 計	7,309,620円	-	9,084,970円	-

登米市水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ジョーくん 水守(みもる)さん

特記事項

1. 9月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は195,856千円(税込)で、前月期に比べて5,046千円の増、対前年同月比では1,293千円の減となっています。営業収益は196,498千円、営業外収益は事務手数料や雑収益など5,057千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など94,184千円、営業外費用は企業債利息として51,210千円、特別損失は3,186千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金や補償金など8,546千円の執行となりました。支出は、建設改良費として調査設計費や事務費など14,051千円、企業債償還金として252,135千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は71,531千円(税込)で、前月期に比べて2,087千円の増、対前年同月比では543千円の増となっています。営業収益は71,534千円、営業外収益は、雑収益7,460千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など80,116千円、営業外費用は企業債利息として137,376千円、特別損失は3月16日に発生した地震に伴う災害復旧費用など4,766千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、ありませんでした。支出は、建設改良費として災害復旧費や工事費など25,245千円、企業債償還金として736,140千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会9月定期議会の開催について

9月8日(木)に令和4年度登米市議会定例会9月定期議会が開会し、上下水道部では、「令和4年度登米市水道事業会計補正予算(第3号)及び(第4号)」、「令和4年度登米市下水道事業会計補正予算(第2号)」、「令和3年度登米市水道事業会計決算認定について」及び「令和3年度登米市下水道事業会計決算認定について」の5件を提案しました。

補正予算については原案のとおり可決され、決算についても、決算審査特別委員会において認定され、その後の本会議(10月3日)でも認定されました。

(2) 総務企画常任委員会について

9月14日(水)、16日(金)及び21日(水)に総務企画常任委員会が開催されました。14日の委員会では令和3年度に行った生活困窮や行方不明に伴う107件、443,915円の債権放棄について説明を行いました。

16日には水道事業会計補正予算(第3号)、下水道事業会計補正予算(第2号)及び令和3年度水道事業決算認定及び下水道事業決算認定について説明を行いました。

水道事業会計補正予算(第3号)及び下水道事業補正予算(第2号)は、エネルギー価格高騰による事業費用の補正及び債務負担行為について追加を行ったものです。

令和3年度水道事業決算は、水道料金改定に向け検討に着手し、保呂羽浄水場再構築事業に係る事業者選定の準備を開始しました。また、水道事業経営戦略に基づき老朽化した基幹配水管の更新の実施している旨の説明を行いました。また、経営成績は、給水人口の減少に伴い給水収益が前年度から2,941万円減少し、当年度純利益も2,284万円となり、今後の経営環境は厳しさを増すと予測していると報告しました。

令和3年度下水道事業決算は、下水道使用料改定に向け検討に着手し、公共下水道事業の令和5年度の整備完了を目指し管渠整備を実施しました。また、合併浄化槽の整備及び処理施設の更新を進めたとの説明を行いました。経営成績は、下水道使用料収入が新規水洗化人口の増加により、前年度から58万円増加し、当年度純利益は1億1,664万円となりました。

21日には、水道事業会計補正予算(第4号)及び水道料金等改定に関する検討状況について、説明を行いました。補正予算は、令和4年7月大雨により被災した水道施設の災害復旧費用の補正及びその財源に充てるため企業債1件の変更を行ったものです。

令和4年9月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	817,978	5,065,519	4,909,210	5,025,109	156,309	40,410
総配水量	766,580	4,733,656	4,588,050	4,687,826	145,606	45,830
1 有効水量	718,617	4,189,434	4,224,300	4,219,271	△ 34,866	△ 29,837
(1) 有収水量	671,823	3,895,965	3,944,400	3,970,789	△ 48,435	△ 74,824
(2) 無収水量	46,794	293,469	279,900	248,482	13,569	44,987
2 無効水量	47,963	544,222	363,750	468,555	180,472	75,667
(1) 漏水量	47,134	535,028	360,000	465,945	175,028	69,083
(2) その他無効水量	829	9,194	3,750	2,610	5,444	6,584
3 有収率	87.64%	82.30%	85.97%	84.70%	-3.67%	-2.40%

※ 当月期の最大配水量は、29日（木）に記録した【26,938m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
浄水施設整備事業	6	64,020	2	20,163	0	0	43,857	31.5%
配給水施設整備事業	42	1,093,210	19	508,359	2	36,254	548,597	49.8%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 下り松取水塔ポンプピット清掃作業実施について

9月7日（水）下り松取水塔のポンプピット清掃作業を実施しました。

ポンプピット内の清掃は、土砂等の堆積による取水能力低下を防止することを目的として実施するもので、安定した原水の取水を行うための重要な作業です。

今後においても、ポンプピット内への流木や堆砂により計画取水量の確保が困難とならないよう計画的な清掃を実施してまいります。



【清掃作業状況】

2 漏水調査結果について

有収率向上対策のため、配水施設等維持管理業務受託者により漏水調査を実施しています。9月末の漏水調査結果は、累計で76件230.983m³/hの漏水を発見し、有収率は82.30%となっています。有収率は前年度と比較して2.40ポイント低くなっています。

主な要因としては、無効水量（特に未確認漏水量）が増加したこと、3月16日に発生した地震や7月の大雨の影響により、配水管等の破損による漏水量の増加が考えられます。

現在、石越水系において簡易流量計を設置して漏水箇所の絞り込みを行っているところであり、今後は保呂羽水系においても実施する予定であります。また、戸別・路面音聴調査も継続して実施しながら、漏水の早期発見、有収率の向上に努めます。

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	36	190.856
	付属施設	0	0.000
	給水装置	40	40.127
	計	76	230.983

【漏水調査結果：4月～9月（累計）】

※参考：漏水削減効果（金額換算）

約1,539,954円/日当たり
算定：R3年度給水原価 277.79円
累計漏水量 230.983m³/h
230.983m³/h×24h×277.79円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道（迫・中田・登米・南方）	293,126	1,802,687	1,647,059	155,628		1処理場
特定環境保全公共下水道	53,447	337,538	335,712	1,826		3処理場
米谷・錦織処理区	10,885	68,997	72,193	△ 3,196		
豊里処理区	31,394	196,951	189,207	7,744		
津山処理区	11,168	71,590	74,312	△ 2,722		
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	13,253	76,526	79,301	△ 2,775		
農業集落排水	100,379	726,102	691,324	34,778		24処理場
迫地区	8,525	58,724	60,699	△ 1,975		
東和地区	2,791	17,788	19,165	△ 1,377		
中田地区	16,311	152,272	177,582	△ 25,310		
豊里地区	1,881	12,316	12,265	51		
米山地区	49,560	354,592	300,397	54,195		
南方地区	21,311	130,410	121,216	9,194		R4.4.1時点
浄化槽（特地・個排）	48,474	262,878	254,267	8,611		2,015基
合計	508,679	3,205,731	3,007,663	198,068		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	532,766	0	363	0	9,030	523,373	1.8%
ポンプ施設整備事業	1	25,000	1	23,100	0	0	1,900	92.4%
処理施設整備事業	82	342,224	18	138,707	23	30,476	173,041	49.4%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 下水汚泥の放射性物質測定の実施

公共下水道処理施設4か所及び農業集落排水処理施設24か所から試料採取した汚泥について、放射性物質の測定を行いました。

この測定は、「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に基づき、各処理施設から搬出される汚泥中の放射性物質濃度を測定するもので、今年度についても2回実施する予定です。今回1回目の測定を実施したところ、汚泥中からの放射性物質の検出はありませんでした。

2 佐沼環境浄化センターの水処理施設（電気及び機械設備）工事に着手

○浄化槽整備事業受付状況
(9月末現在)

9月期、佐沼環境浄化センターの水処理施設に係る電気及び機械設備工事に着手しました。この工事は、供用開始時より稼働している施設の老朽化が進んでいることから、令和元年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、水処理2系を対象とした施設の再構築を行うもので、令和5年3月の工事完了を予定しています。

予定件数	受付件数	残件数
80	59	21